

に ご あな 二五穴と

たいないぼり 胎内堀の技術

国分寺市教育委員会 ふるさと文化財課・光公民館 共催事業



胎内堀発掘状況 (国分寺市西町)

二五穴 (千葉県君津市)

祝

「中藤新田分水跡」(胎内堀) 市重要史跡指定記念

令和 4 年

12月17日(土)

13:30 ~ 16:00 (開場 13:15)

会場: 光公民館 定員: 30 名

かつて西町地域を潤していた中藤新田分水は、玉川上水の分水のひとつとして享保 14 年 (1729) に開渠が作られました。その後、他分水の横断で水が入らなくなり、およそ 150 年前に一部を「胎内堀」と呼ばれるトンネル状の暗渠に作り替えたことが古文書よりわかっています。西町四丁目にはその稀少な遺構が残っており、令和 3 年 (2021) に発掘調査の中で姿を現しました。水確保のため苦難を乗り越え完成した胎内堀は、9月に市重要史跡に指定されました。

この胎内堀のようなトンネル状の水路としては、千葉県の房総丘陵にある「二五穴」が有名です。江戸時代後期から明治時代にかけて作られ、100 年以上も水田に水を送る現役の水路です。規模が幅二尺×高さ五尺(およそ60cm×150cm)であることが名前の由来で、長いトンネルでは 700m もあります。さらに二五穴は開削時の見積書や請負書が残され、工事の様子を復元できる貴重な遺産です。

今講座では、胎内堀の調査を速報するとともに、二五穴を通じて地域の農業と暮らしを支えた先人たちの苦勞と技術を学びます。

- 申し込み: 11月28日(月)までに、電話または直接光公民館へ(定員30名)。多数の場合は抽選、定員に満たない場合は翌日以降 先着順。
- 問い合わせ: 光公民館 042-576-3991
国分寺市光町 3-13-19 (第二小学校西隣)

講師: 島立 理子さん

(千葉県立中央博物館 企画調整課長)
専門 民俗学



絵葉書や古写真をもとに、文献資料や聞き取り調査といった方法で、明治時代以降の人々の生活文化の変化や、房総に生活する人々が地域の自然とどのようにかわりながら生活をしてきたのかを調査研究している。主な著作は裏面に記載。

「房総丘陵の用水路 二五穴」

調査報告: 小坂 克信さん

(国分寺市文化財調査専門員、産業遺産学会・水車と臼文化会代表) 専門 江戸上水史



用水や水車に関心があり、古文書を調査しながら現地へ赴き、人々の暮らしとのかかわりを研究している。主な著作は裏面に記載。

「中藤新田分水の暗渠の開削時期」

調査報告: 市職員 (中藤新田分水発掘調査担当者)

「中藤新田分水(西町四丁目)の発掘調査」

プログラム

- 13:15 開場
 13:30 開会・趣旨説明
 13:35 調査報告①
 市職員「中藤新田分水(西町四丁目)の発掘調査」
 13:50 調査報告②
 小坂克信さん「中藤新田分水の暗渠の開削時期」
 14:10 講演 講師紹介
 14:15 島立理子さん「房総丘陵の用水路 二五穴」
 * 途中で休憩あり *
 15:50 質疑応答・閉会

主な著作

島立理子さん

「動植物の民俗語彙の翻訳を考える」(公益財団法人日本博物館協会『博物館研究』53-1 2018年)、「日本千葉県館山市所蔵の“チョウセン”と呼ばれる海女の潜水着とその特徴」(韓国国立民俗博物館『生活文物研究』32 2106年)、「石造物にみる裁縫師匠—幕末から明治の千葉県を事例として—」(千葉県立中央博物館 研究報告 人文科学第10-2 2008年)、「共同研究 日本の中山間地域における人と自然の文化誌 中間報告」(国立歴史民俗博物館研究報告 186集 2014年 共著)、「千葉県立中央博物館の「おばあちゃんの畑」プロジェクト」(日韓比較民俗研究の新視点 国立歴史民俗博物館 2013年)など。

TAINAIBORI



NIGOANA



主な著作

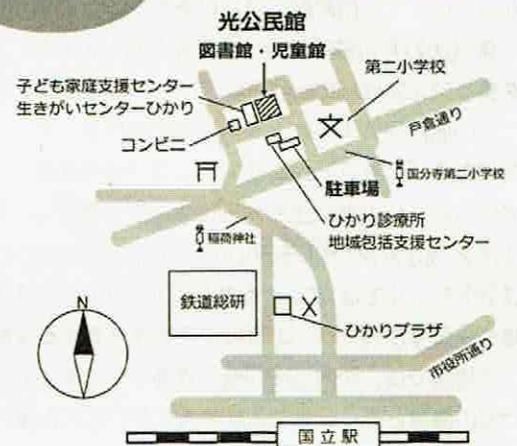
小坂克信さん

『玉川上水と分水』(新人物往来社 1989年)、『武蔵野台地南部の水利用の歴史』(とうきゅう環境浄化財団 2006年)、『武蔵野地方の水車技術を伝える三鷹市の峯岸水車』(『技術と社会の関連を巡って』日本機械学会 2008年)、「多摩地域の用水の利用と変遷—武蔵野台地を中心に—」(『多摩のあゆみ』第174号特集 一用水と暮らし— 公益財団法人たましん地域文化財団 2019年)など。

参考文献

- 【二五穴】『房総の二五穴』(房総のお宝シリーズ① 千葉県立中央博物館 2014年)、「房総丘陵の用水路「二五穴」—江戸・東京をつなぐトンネル—」(『東京府のマボロシ 失われた文化、味わい、価値観の再発見』社会評論社 2014年)、『素掘りのトンネル マブ・二五穴 人間サイズの土の空間』(INAX ライブミュージアム LIXIL 出版 2015年)
 【中藤新田分水・胎内堀】小坂克信「中藤新田分水の暗渠の時期について」(『令和4年度第1回国分寺市文化財保護審議会 審議事項資料2』国分寺市教育委員会 2022年)、「依田亮一「中藤新田分水跡(市重要史跡)」(『武蔵国分寺跡資料館だより』第49号 武蔵国分寺跡資料館 2022年)、「寺前めぐみ・依田亮一「幕末期の胎内堀(中藤新田分水)と中藤醤油工場跡の調査」(『東京の遺跡』No.121 東京考古談話会 2022年)

会場地図



- 【徒歩】JR 国立駅北口から徒歩 15分
 【路線バス】JR 国立駅北口からけやき台団地行バス、弁天通り折返場「稲荷神社」下車(徒歩3分)、戸倉循環バス、並木町二丁目行バス「国分寺第二小学校」下車(徒歩2分)
 【ぶんバス】西町ルート「光公民館」下車(徒歩0分)
 【駐車場】一般 15台・障害者用 2台。原則、公共交通機関をご利用ください。